

1月23日から通常国会

大軍拡と大増税にストップを

昨年12月、防衛・原発政策などの大転換、そして大増税が打ち出されました。国会での審議も国民合意もないまま、政権の暴走とでも言うべき事態が進んでいます。危険な流れにストップをかけるためにも厳しい国会論戦と統一自治体選での勝利が必要です。通常国会の対決点と課題についてまとめました。

●●政策変更の理由と中味を問う

第211回通常国会が1月23日に召集されます。

岸田首相は昨年末、国会での議論のないまま、敵基地攻撃能力の保有を含む安保3文書の改定、今後5年間で17兆円増の43兆円規模を目指す防衛費の増額、老朽原発の運転期間の延長など重要な政策転換を図りました。このような重要な政策変更の理由や中身について厳しく問わなければなりません。

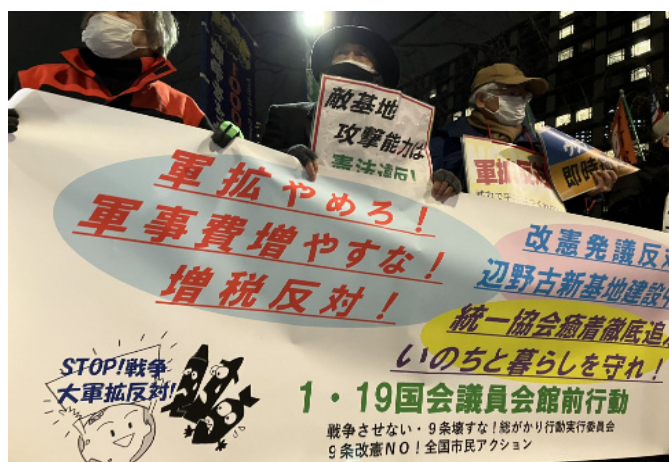
●●幕引き許さず追及・検証が必要

また、岸田首相は「異次元の少子化対策」を打ち上げましたが、具体策も財源も先送りされています。

「子ども若者応援国会」にするべく奮闘することが求められます。旧統一教会問題の幕引きは認められません。特に、細田博之衆院議長に公の場で教団との接点について説明責任を果たさせる必要があります。日銀総裁が交代しますが、10年間のアベノミクスの検証も重要です。

●●予算、増税など重要法案は目白押し

今通常国会は重要案件が目白押しです。福祉切り捨ての一方、国民合意もないまま国民負担増で大軍拡を



進める2023年度予算案、「防衛力強化資金」新設を盛り込む防衛費財源確保の法案、原発の60年を超える長期運転のための電気事業法等改正案、高齢者の医療保険料を引き上げる医療保険制度関連法改正案、日本学術会議法改正案、外国人の収容ルールを見直す入管難民法改正案、マイナンバーの利用事務の拡大や預貯金口座登録のオプトアウト化などのマイナンバー法改正案、自衛隊とオーストラリア軍、英軍との部隊往来をスムーズにする円滑化協定(RAA)承認案などです。

●●「増税内閣対野党」でたたかう

立憲民主党は日本維新の会と、防衛増税については強く反対し政府に対して撤回を求めることなどで連携することを確認しました。また、日本共産党とは、細田議長に対し旧統一教会との関係について説明を求めることや、防衛増税に反対する考えで一致しました。立憲民主党は、「増税内閣対野党」の枠組みで、国会を軽視し国民の声を聴かない政府の姿勢をただし、4月の統一地方自治体選挙に臨んでいきます。



★統一自治体選挙をたたかう女性・新人候補者（フォーラム会員）の皆さんに決意を語っていただきました。



労働や子育ての声を政治へ

秋田県 桜田ゆうこ

秋田県議選（秋田市選挙区）に挑戦する桜田ゆうこです。

小・中学校で働く中で、様々な

子どもたちや保護者の「生きにくさ」を目の当たりにしました。経済的な理由で進学をあきらめた子。ダブルワークしながら懸命に子どもを育てている母親。育てる子どもが多いほどのしかかる経済負担…。

一方、学校を巣立った子どもたちは、格差社会の中で苦しんでいました。何度も採用試験に落ち、存在を否定されたと苦しむ若い女性、過重労働で疲れ果て秋田に戻ってきた青年。長時間労働や低賃金に苦しむ多くの労働者…。

生きがいや豊かさにつながるはずの労働や子育てが、私たちを苦しめている現実をなんとしても変えたいと思いました。

イージス・アショア配備計画反対の闘いでは、地元の皆さんに寄り添い反対の声を「県民署名」につなげる活動の一翼を担いました。大きな試練でしたが、どんなに困難であっても、県民・住民の声を政治に届けることの大切さを学びました。ここにこそ秋田を変えるヒントがあり、徹底して県民の声に立ち取り組んでいきたいと思います。

いのちと暮らしに全力

東京・北区 青木のぶえ

東京都北区議会選挙に挑戦します青木のぶえです。

これまで社会福祉士として、

男女共同参画センターやDV相談室等で相談業務をしてきました。コロナ禍で、より一層深刻になった虐待、DV、性暴力、生活困窮など相談が相次いでいます。非正規労働の方々がおかれている環境も深刻です。私自身も育児、家事、介護と仕事の両立に苦勞し、生きづらさを感じてきました。

自己責任、自助努力という行き過ぎた風潮や性別役割に対する固定観念で、生活上の不安や心配、困りごとを抱えた人がやっと相談にたどり着くことが多く、解決に向かい奔走してきました。このような課題を解決し、誰もが尊重され安心して暮らせる社会に変えていくことが政治の大きな役割だと考え決断しました。

活動を開始してから、地域で子どもや女性の支援、権利擁護や市民活動をしている仲間との連帯を強めてきました。残り3か月を全力で取り組んでいきます。



12月中間選挙の結果

十和田市議選ではトップ当選

昨年12月11日の茨城・笠間市議選において石松俊雄さん（左・立推・現7）が3位（定数22）で当選しました。同月18日の青森・十和田市議選では新人の太田正幸さん（中・立公・現1）がトップ当選（定数22）を果たし、久慈年和さん（右・立公・現3）も16位で現職の議席を守りました。

昨年秋以降に行われた中間選挙では新人2人を含む7人の候補者全員が当選しました。統一自治体選でも勝利を目指しましょう。



フォーラム自治体議員団 2023地方財政学習会

- 2月14日（火）14時～16時
- オンライン（ZOOM）開催
- 講師：飛田博史さん
（地方自治総合研究所 副所長）

■■地財計画資料集成のご案内■■

「2023年度予算・地方財政計画」資料集成（CD版）を作成します。1枚2000円です。

※申し込みはフォーラム事務局まで